

コロナに負けるな！ みんなで頑張ろう！！

5月4日に「緊急事態宣言を31日まで延長します」と発表がありました。ひのき工房では、施設内での感染を防ぐため規模縮小を継続しますので、利用者、ご家族の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

5/1現在、ひのき工房では、感染予防のため、手洗い、消毒、マスク着用の徹底の他、下記の対応をさせていただいています。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ① 来訪者の検温及び入場制限 | ⑥ 食事時間の2部制及び一方方向化 |
| ② アルコールの配布 | ⑦ 1時間遅れの開所 |
| ③ 手作りマスクの配布 | ⑧ 各利用者の通所日数減 |
| ④ 一日4回以上の施設内消毒 | ⑨ 作業室の感染防止壁の設置 |
| ⑤ 送迎車内の消毒 | ⑩ リサイクル班の分離運営 など |

あるネットの記事で「震災で避難生活になると、家に帰りたいと、みんなが言う。今は、その家にいれる。だから、その家にステイホームしよう。」という言葉がありました。

今は“ステイホーム”で力を合わせ「自分は感染しない」「他人に感染させない」ようにして、この状況を乗り越えていきましょう。

2020 TOKYO パラリンピック (5)

卓球 (ルール詳細)

世界的に普及している卓球は、1960年の第1回ローマ大会から継続して実施されている競技の一つ。1988年、ソウル大会からオリンピックで卓球が正式競技になった。パラリンピックの卓球がオリンピックより先に始まっています。パラリンピックの卓球が対象とする障害は幅広い。まず、肢体不自由と知的障害の2つに大別され、肢体不自由クラスには車いすと（立って競技する）立位がある。試合はそれぞれの障害の程度に応じて、さらに11クラスに分かれて競う。使う用具や試合の進め方、基本的なルールはオリンピックの卓球とほぼ同じだが、障害のクラスによってサーブやトスなどに特別ルールが設定されている。

岩淵幸洋選手



～ 選手紹介 ～

岩淵 幸洋（いわぶちこうよう）選手

東京都出身。先天性内反足という障がいがある。中学1年で卓球を始め、健常者の中でプレーをしていたが、3年時から本格的にパラ卓球の道へ。早稲田大学時代にはパラ世界選手権やアジアパラ競技大会など主要国際大会でコンスタントにメダルを獲得し、世界ランキング11位まで浮上した。2016年リオデジャネイロパラリンピックにも出場した。現在は実業団チームの強豪、協和発酵キリンの卓球部で練習を積んでいる。